

# コロンビア

Republic of Colombia

	2015年	2016年	2017年
①人口：4,929万人（2017年）			
②面積：114万1,748km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：6,273米ドル （2017年）			
④実質GDP成長率（%）	3.1	2.0	1.8
⑤消費者物価上昇率（%）	6.77	5.75	4.09
⑥失業率（%）	8.9	9.2	9.4
⑦貿易収支（100万米ドル）	△15,581	△11,093	△6,210
⑧経常収支（100万米ドル）	△18,549	△12,025	△10,437
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	46,740	46,683	47,637
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	110,502	120,059	124,363
⑪為替レート（1米ドルにつき、 コロンビア・ペソ、期中平均）	2,746.47	3,053.42	2,951.15

〔注〕①③⑨、および④の2016年、⑧の2016・2017年、⑩の2015・2016年は暫定値。④の2017年、⑩の2017年は推計値。⑦：国際収支ベース（財のみ）  
〔出所〕①④～⑦：国家統計庁（DANE）、②：アグスティ・コダシ国土地理院（IGAC）、③：IMF、⑧～⑩：コロンビア中央銀行

2017年のコロンビアの実質GDP成長率は前年を下回る1.8%となった。2016年末の税制改正により付加価値税（IVA）が16%から19%に引き上げられたことにより、消費者マインドが冷え込み民間消費は低迷した。貿易は、資源価格の回復などにより輸出入ともに2016年を上回り、また、輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったことから、貿易赤字が減少した。

## 過去8年で最低の成長率も景気は回復基調

2017年のコロンビアのGDP成長率は1.8%と2010年以降で最低の成長率となった。16年末の税制改正でIVA増税が17年の消費の足を引っ張り、失業率がやや悪化したことなどが影響して、総需要の68%を占める民間最終消費支出は1.8%にとどまった。政府が主導する和平構築に向けた支援やインフラ整備などの政府最終消費支出は4.0%と項目別では最も高い伸びを見せた。

産業別にGDP成長率を見ると、9産業分野のうち5分野がプラス成長となり、中でも農林水産が4.9%、金融・保険・不動産が3.8%、その他（サービス関連）が3.4%と堅調な伸びを見せた。

一方、経済成長の足かせになったのはマイナス3.6%となった鉱業であった。内訳を見ると、最も不振だったのは金属鉱業部門でマイナス16.0%。また、製造業（マイナス1.0%）、建設（マイナス0.7%）、運輸・通信（マイナス0.1%）が前年のプラスからマイナス成長に転じた。

表1 コロンビアの需要項目別実質GDP成長率

	2016年	2017年				2018年 Q1	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	2.0	1.8	1.3	1.6	2.5	1.8	2.2
民間最終消費支出	1.4	1.8	1.3	1.9	2.8	1.2	2.5
政府最終消費支出	1.8	4.0	3.6	3.5	4.5	4.4	6.7
国内総固定資本形成	0.3	0.6	0.4	1.4	0.1	0.6	△3.9
財貨・サービスの輸出	△1.4	△0.6	△4.6	2.9	3.2	△3.7	△0.5
財貨・サービスの輸入	△4.0	0.3	0.3	4.1	0.9	△3.8	△1.7

〔注〕2016年は暫定値。2017年、2018年は推計値。四半期の伸び率は前年同期比。  
〔出所〕国家統計庁（DANE）

2018年第1四半期の実質GDP成長率は2.2%で好調な滑り出しを見せた。今統計から国際標準産業分類に改定（従来の9分野から12分野に変更）され、金融・保険（6.1%）、行政・防衛（5.9%）、科学・技術（5.6%）などの9分野がプラス成長となった。他方、建設（マイナス8.2%）、鉱業（マイナス3.6%）、製造業（マイナス1.2%）などの分野は、不調が続いている。建設が前年同期より7.7ポイントも低下した背景には、汚職などの防止に関する法律（Ley de Garantias）で大統領選挙前4カ月間の公共調達禁止が禁止され、大規模インフラ事業が先送りされた影響があるとみられる。

政府は4月の消費者信頼感指数が27カ月ぶりにプラスに転じたことやインフレ率の順調に推移していることから国内産業を牽引するとみて、2018年の成長率見通しを当初の2.7%から3.0%に引き上げた。

## 伝統製品の輸出増加で、貿易赤字は縮小

2017年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比19.0%増の378億ドル、輸入は同2.6%増の460億7,600万ドルとなった。貿易収支は82億7,600万ドルの赤字だが、輸出の伸びが輸入のそれを上回る傾向にあり、2015年以降、赤字幅は年々減少している。

輸出の61.7%を占める伝統製品は233億1,100万ドルで、前年に比べ28.3%増と大幅に増加した。伝統製品を品目別に見ると、石油・同派生品が21.0%

増の130億4,200万ドル、石炭・コークスなどが59.3%増の73億9,000万ドル、コーヒーが4.0%増の25億1,400万ドル、フェロニッケルが10.0%増の3億6,100万ドルだった。輸出が増加した最大の要因は、国際資源価格の回復によるところが大きい。コロンビア石油協会（ACP）によると2017年1～9月のコロンビア産原油の平均輸出価格は1バレル当たり46.3ドルと前年同期比28.6%上昇した（2015年平均ではバレル当たり44.40ドル、2016年は同36.00ドル）。石炭の輸出価格は2017年平均でトン当たり77.84ドルと前年比35.2%増と大きく伸びた（2015年平均では52.51ドル、2016年：同57.58ドル）。また、輸出量は前年比23.6%増となった。

その他の品目で2桁の伸び率を示したのは、鉄鋼製品（4億9,200万ドル、20.1%増、構成比1.3%）、金（18億700万ドル、15.7%増、同4.8%）、エッセンシャルオイル・芳香剤など（6億2,100万ドル、15.0%増、同1.6%）、プラスチック原料（8億7,600万ドル、11.2%増、同2.3%）などだ。また、政府が力を入れている農林水産・食品・飲料は、前年比7.2%増の73億5,600万ドルとなった。商工観光省によると、この8年間でパイナップルが6.5倍、パッションフルーツなどが4倍に増えているほか、ここ最近輸出を開始したアボカド（ハス種）は754倍、カカオは8倍、たばこは2倍と大きく伸ばしており、引き続き資源輸出依存型の輸出構造からの脱却を目指すとしている。

主要輸出相手国・地域別では、シェアが27.9%と最も高い米国向けが前年比3.2%増、次いでシェア7.2%のパナマ（同34.7%増）、シェア5.3%の中国（同71.6%増）、以下オランダ（同27.8%増）、メキシコ（同64.0%増）と

主要国への輸出は増加した。米国を除く主要国への輸出が伸びた要因としては、石油・同派生品が各国とも大幅に伸びたことによる。また、前年比でマイナス幅が大きかったのは、シェア0.8%のベネズエラ（48.0%減）、2.6%のシェアを持つスペイン（15.9%減）、パラグアイ（11.2%減）、ドイツ（0.6%減）となった。

## ■輸入は2年ぶりに微増

2017年の輸入は前年比2.6%増の460億7,600万ドルと2年ぶりに前年を上回った。輸入全体の76.5%を占める工業品は3.9%増の352億3,200万ドル、13.6%を占める農林水産物・食品・飲料が0.3%減の62億4,900万ドル、鉱物性燃料・非鉄金属などは1.2%減の45億800万ドルとなった。自動車は5.9%減の39億7,200万ドルと落ち込んだものの工業品のトップ、次いで、通信機器・映像再生機が13.6%増の31億5,700万ドル、医薬品が3.1%増の23億5,100万ドルで続いた。主要国別では、最大の輸入相手国である米国からは1.1%増の120億1,400万ドルで、構成比は26.1%となった。次いで、中国（87億5,400万ドル、同19.0%）、メキシコ（34億3,700万ドル、同7.5%）、ブラジル（22億8,600万ドル、同5.0%）となった。

なお、2017年新車販売台数はコロンビア自動車協会（ANDEMOS）の発表によると、前年比6.1%減の23万8,238台と、3年連続の減少となった。前述のIVA増税による消費低迷の影響とみられている。2018年は、マクロ経済の改善や、締結済みの経済補完協定（ACE）などの発効により米国、欧州、韓国、ブラジル、アルゼンチンからの車両輸入に際しての関税の引き下げなどが期待される。

表2 コロンビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農林水産・食品・飲料	6,865	7,356	19.5	7.2	農林水産物・食品・飲料	6,265	6,249	13.6	△0.3
コーヒー	2,418	2,514	6.7	4.0	穀物・同調製品	1,677	1,641	3.6	△2.2
肉類・野菜類の未加工品	1,376	1,475	3.9	7.2	飼料	746	758	1.6	1.6
豆類・果実	1,117	1,174	3.1	5.2	鉱物性燃料・非鉄金属など	4,562	4,508	9.8	△1.2
鉱物性燃料・非鉄金属など	15,790	20,911	55.3	32.4	石油・同派生品	3,759	3,664	8.0	△2.5
石油・同派生品	10,776	13,042	34.5	21.0	工業品	33,922	35,232	76.5	3.9
石炭・コークスなど	4,639	7,390	19.6	59.3	自動車	4,221	3,972	8.6	△5.9
工業品	7,526	7,710	20.4	2.4	通信機器・映像再生機	2,778	3,157	6.9	13.6
プラスチック原料	788	876	2.3	11.2	医薬品	2,280	2,351	5.1	3.1
エッセンシャルオイル・芳香剤など	540	621	1.6	15.0	一般産業機械・同部品	2,100	2,250	4.9	7.1
自動車	551	537	1.4	△2.4	有機化学品	1,848	2,023	4.4	9.5
化学製品	561	524	1.4	△6.5	電気機器・同部品	1,730	1,761	3.8	1.8
鉄鋼製品	409	492	1.3	20.1	鉄鋼製品	1,462	1,653	3.6	13.1
家電製品	448	481	1.3	7.3	その他の製造品	1,264	1,306	2.8	3.3
衣料・装飾品	425	426	1.1	0.4	特殊産業機械	1,228	1,296	2.8	5.5
その他	1,576	1,824	4.8	15.7	プラスチック原料	1,295	1,280	2.8	△1.2
金（マネタリーゴールド除く）	1,561	1,807	4.8	15.7	織物・繊維製品	1,315	1,232	2.7	△6.3
合計	31,757	37,800	100.0	19.0	合計（その他含む）	44,889	46,076	100.0	2.6

[注] 金額は暫定値

[出所] 国家統計庁（DANE）

表3 コロンビアの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	11,544	12,604	33.3	9.2	北米 (NAFTA)	16,056	16,242	35.3	1.2
米国	10,211	10,541	27.9	3.2	米国	11,878	12,014	26.1	1.1
メキシコ	937	1,537	4.1	64.0	メキシコ	3,411	3,437	7.5	0.8
カナダ	396	526	1.4	33.0	カナダ	767	791	1.7	3.2
ALADI (メキシコを除く)	6,971	8,544	22.6	22.6	ALADI (メキシコを除く)	5,727	5,619	12.2	△1.9
アンデス共同体	2,399	2,734	7.2	14.0	アンデス共同体	2,021	1,731	3.8	△14.3
エクアドル	1,200	1,465	3.9	22.1	エクアドル	805	715	1.6	△11.1
ペルー	1,051	1,114	2.9	6.0	ペルー	682	663	1.4	△2.9
ボリビア	149	155	0.4	4.4	ボリビア	534	353	0.8	△33.9
その他ALADI (メキシコを除く)	4,572	5,809	15.4	27.1	その他ALADI (メキシコを除く)	3,706	3,888	8.4	4.9
パナマ	2,027	2,730	7.2	34.7	ブラジル	2,117	2,286	5.0	8.0
ブラジル	995	1,363	3.6	37.1	チリ	721	695	1.5	△3.6
チリ	670	1,037	2.7	54.8	アルゼンチン	511	551	1.2	7.9
ベネズエラ	614	319	0.8	△48.0	ベネズエラ	190	220	0.5	15.8
アルゼンチン	176	266	0.7	50.7	ウルグアイ	104	65	0.1	△37.9
キューバ	34	38	0.1	12.8	パナマ	31	51	0.1	63.9
ウルグアイ	34	36	0.1	6.3	パラグアイ	27	11	0.0	△58.2
パラグアイ	22	20	0.1	△11.2	キューバ	4	8	0.0	129.2
EU	4,971	5,439	14.4	9.4	EU	6,301	6,855	14.9	8.8
オランダ	1,206	1,542	4.1	27.8	ドイツ	1,708	1,874	4.1	9.7
スペイン	1,159	975	2.6	△15.9	スペイン	918	967	2.1	5.3
ベルギー	451	507	1.3	12.5	フランス	827	948	2.1	14.6
イタリア	439	481	1.3	9.5	イタリア	761	755	1.6	△0.9
ドイツ	476	473	1.3	△0.6	英国	416	463	1.0	11.3
その他	1,240	1,461	3.9	17.9	その他	1,671	1,848	4.0	10.6
アジア	2,299	3,684	9.7	60.2	アジア	12,015	12,237	26.6	1.9
日本	428	557	1.5	30.3	日本	1,116	1,231	2.7	10.4
中国	1,168	2,004	5.3	71.6	中国	8,631	8,754	19.0	1.4
韓国	402	457	1.2	13.7	インド	946	1,042	2.3	10.2
インド	226	280	0.7	23.9	韓国	889	792	1.7	△11.0
合計 (その他含む)	31,757	37,800	100.0	19.0	合計 (その他含む)	44,889	46,076	100.0	2.6

〔注〕①ラテンアメリカ統合連合 (ALADI) は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラからなる。アンデス共同体は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルーからなる。

②金額は暫定値。

〔出所〕国家統計庁 (DANE)

このほかにも、政府は2017年2月に発表した景気対策「コロンビア・レプンタ (Colombia Repunta)」(Repuntaは「潮目が変わる」の意)の中で、これまで国内で生産されていない原料や資本財3,413品目の関税を免除する時限的措置を恒久的なものとするを検討し、同年8月16日から施行した。これにより、原材料および中間製品の輸入は、前年比2.9%増の209億3,600万ドルとなった。政府は、同措置の施行により、企業の資材調達コストに年間3億5,860万ドルの軽減効果があったとした。また、商工観光省が推進する非エネルギー・鉱業製品の輸出拡大に向けた貿易円滑化政策の一つにも位置付けられていた。

## ■協議を進めるも新たなFTA・EPAの発効はなし

2018年6月現在、17の協定に署名、うち15協定が発効している。2017年の通商政策の動向としては、現在署名済みのパナマ、イスラエル、および交渉中の日本、トル

コのFTA・EPAについて、各国との協議を進め、サントス大統領在職中の発効を目指していたが、実現しなかった。

2017年の貿易におけるFTAカバー率は往復貿易が68.5%で、輸出は72.2%、輸入は65.4%となっている。

太平洋同盟は、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、およびシンガポールの環太平洋パートナーシップ (TPP) の原署名国の4カ国との準加盟交渉を開始した。また、コロンビアは包括的および先進的な環太平洋パートナーシップ協定 (CPTPP) 加盟にも意欲を示しているほか、インドと中国との通商関係強化に向けた動きも出ている。2017年11月にインドを公式訪問したマリア・オルギン外相は、同国との二国間FTAの交渉を期待すると語ったほか、ボゴタ市内で開催された中国と中南米の経済フォーラムに参加した李念平・在コロンビア中国大使によると、既に中国政府はコロンビアとのFTA交渉開始に向けた調査を開始していると発言している。ただ、中国とのFTAが締結されればコロンビアの農産品の



表4 コロンビアのFTA発効・署名・交渉状況

FTA	発効日	(単位：%)		
		コロンビアの貿易に占める構成比 (2017年)		
		往復	輸出	輸入
発効済み				
カリブ共同体 (CARICOM) (アンティグア・バーブーダ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ドミニカ国、グレナダ、ガイアナ、ハイチ、ジャマイカ、セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島、スリナム、トリニダード・トバコ、英領モンセラット)	1995年1月1日	2.3	4.8	0.2
メキシコ	1995年1月1日	5.9	4.1	7.5
キューバ	2001年7月10日	0.1	0.1	0.0
メルコスール (アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)	2004年10月18日	6.1	5.3	6.8
アンデス共同体 (CAN) (エクアドル、ペルー、ボリビア)	2006年1月1日	5.3	7.2	3.8
チリ	2009年5月8日	2.1	2.9	1.4
中米3カ国 (エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ)	2009年11月12日 グアテマラ 2010年2月1日 エルサルバドル 2010年3月27日 ホンジュラス	0.7	1.3	0.2
欧州自由貿易連合 (スイス、アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン)	2009年11月26日 リヒテンシュタイン 2011年10月29日 スイス 2014年9月1日 ノルウェー 2014年10月1日 アイスランド	1.0	1.1	1.0
カナダ	2011年8月15日	1.6	1.4	1.7
ベネズエラ	2012年4月15日	0.6	0.8	0.5
米国	2012年5月15日	26.9	27.9	26.1
欧州連合 (EU)	2013年8月1日	14.7	14.4	14.9
太平洋同盟 (メキシコ、ペルー、チリ)	2015年7月20日	10.1	9.8	10.4
韓国	2016年7月15日	1.5	1.2	1.7
コスタリカ	2016年8月1日	0.4	0.6	0.1
合計	—	68.5	72.2	65.4
署名済み				
イスラエル	—	0.5	0.8	0.3
パナマ	—	3.1	6.8	0.1
交渉中				
トルコ	—	2.0	3.7	0.5
日本	—	2.1	1.5	2.7

[出所] 商工観光省、国家統計庁 (DANE)

対中輸出拡大が期待される一方で、繊維産業など国内の製造業への影響を懸念する声も少なくない。

## ■運輸・倉庫・通信分野の投資が大幅増

対内直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー) は前年比4.8%増の145億1,805万ドルで、2年連続で前年比プラスとなった。産業部門別で最大の投資先は、運輸・倉庫・通信部門で34億6,484万ドル (前年比131.7%増)、次いで石油が34億5,813万ドル (同45.0%増)、製造業は22億6,944万ドル (同23.4%増) と続いた。

2017年の主な対内直接投資案件としては、通信、ITサービス、資源エネルギー、小売などに大型案件が目立つ。ルクセンブルクのミリコム・インターナショナル・セルラーが所有する電気通信会社Tigo Uneはサービス容量の拡充および適用エリアを拡大するため1億ドルを投資し、中国のファーウェイと戦略的業務提携を行った。また、メキシコのアメリカ・モバイルが所有する通信会社クラロはボゴタ市内に事務所および商業施設の複合施設プラサ・クラロ

を設立した。ITサービスでは、スペインのカビファイはインターネットで企業向け配車サービスの提供、ブラジルのオダータはボゴタ郊外に大きなデータセンターの建設を開始した。資源エネルギーでは、風力エネルギーパークの製造を行っているフランスのヴァロレムが、今後5年間で約3億ドルの投資を行うとした。特に北部カリブ沿岸のグアヒラ県を有望視している。

主要地域別に対内直接投資額を見ると、欧州 (64億9,047万ドル) が最大で、北米 (40億6,607万ドル)、カリブ島しょ地域 (17億785万ドル)、中米 (15億1,558万ドル) の順だった。国別に見るとスペインが26億1,560万ドル (前年比78.7%増) で最大の投資国となった。次いで、米国 (21億2,177万ドル)、メキシコ (17億1,737万ドル)、パナマ (14億6,387万ドル) と続いている。

コロンビア貿易投資観光振興機構 (プロコロンビア) によると、2010年から2017年の欧州からの主な投資元国は、スペイン、スイス、英国、オランダ、フランス、ドイツで、合計192件、69億500万ドル、11万500人の雇用を創出しているとした。分野別では、BPO (ビジネス・プロセス・アウトソーシング) が19%、インフラ・ロジスティックス (13%)、投資ファンド (12%)、IT・ソフトウェア (11%) と続き、資源エネルギーはわずか3%となっている。

また、アジア大洋州地域からの投資は他地域に比べると少なく全体の約1.0%の構成比だが、前年比で39.3%増となった。中でも、日本からは前年比約3.4倍の6,343万ドルで同地域では最大の投資国となった。

## ■対外直接投資では製造業が拡大

2017年の対外直接投資額は36億9,000万ドルと前年比18.3%減だった。産業部門別では、製造業が前年比約2.2倍の12億9,400万ドルで最大となったほか、電力・ガス・

表5 コロンビアの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>  
(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	5,075	4,066	28.0	△19.9	451	454	12.3	0.7
米国	2,098	2,122	14.6	1.1	1	△72	—	—
カナダ	2,188	227	1.6	△89.6	△39	53	—	全増
メキシコ	789	1,717	11.8	117.6	489	473	12.8	△3.1
欧州地域	4,609	6,490	44.7	40.8	828	871	23.6	5.3
スペイン	1,463	2,616	18.0	78.7	457	19	0.5	△95.9
オランダ	996	610	4.2	△38.7	63	339	9.2	439.7
英国	879	1,282	8.8	45.9	326	113	3.1	△65.3
スイス	731	1,027	7.1	40.6	1	△199	—	—
フランス	188	239	1.6	27.1	0	5	0.1	4,396.5
ルクセンブルク	△67	117	—	全増	△10	592	—	全増
カリブ島しょ地域	2,184	1,708	11.8	△21.8	1,717	663	18.0	△61.4
バミューダ諸島	1,707	248	1.7	△85.5	629	411	11.1	△34.6
ケイマン諸島	295	637	4.4	116.1	82	81	2.2	△1.1
バルバドス	248	386	2.7	55.7	△6	△0	—	—
中米	1,535	1,516	10.4	△1.3	322	903	24.5	180.6
パナマ	1,433	1,464	10.1	2.2	196	741	20.1	278.5
南米	326	581	4.0	78.5	1,203	806	21.8	△33.1
チリ	10	221	1.5	2,105.9	606	309	8.4	△49.1
エクアドル	48	62	0.4	30.7	10	10	0.3	△3.7
ベネズエラ	56	41	0.3	△27.2	△44	△36	—	—
アジア・大洋州	108	151	1.0	39.3	2	0	0.0	△97.4
中国	56	32	0.2	△42.9	0	0	0.0	△95.4
日本	19	63	0.4	241.7	0	△0	—	—
合計 (その他含む)	13,849	14,518	100.0	4.8	4,517	3,690	100.0	△18.3

[注] 金額は推計値。

[出所] コロンビア中央銀行 (2018年4月)

表6 コロンビアの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>  
(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
石油	2,385	3,458	23.8	45.0	807	309	8.4	△61.8
鉱業 (石炭含む)	△125	953	6.6	—	—	—	—	—
製造業	1,839	2,269	15.6	23.4	581	1,294	35.1	122.7
金融	2,461	1,662	11.4	△32.5	2,503	741	20.1	△70.4
運輸・倉庫・通信	1,495	3,465	23.9	131.7	△62	324	8.8	全増
商業・外食・ホテル	903	899	6.2	△0.4	80	△10	—	—
建設	620	701	4.8	13.0	△0	52	1.4	—
電力・ガス・水道	3,620	472	3.2	△87.0	564	921	25.0	63.3
農林水産	299	241	1.7	△19.2	15	5	0.1	△63.0
合計 (その他含む)	13,849	14,518	100.0	4.8	4,517	3,690	100.0	△18.3

[注] 金額は推計値。

[出所] コロンビア中央銀行 (2018年4月)

水道が同63.3%増の9億2,100万ドル、金融が同70.4%減の7億4,100万ドル、運輸・倉庫・通信が前年の引き揚げ超過から3億2,400万ドルとなった。

主要地域別に見ると、中米地域向け (9億300万ドル) が全体の24.5%を占め、次いで、欧州 (8億7,100万ドル、構成比23.6%)、南米 (8億600万ドル、構成比21.8%) と続いた。国別では、パナマが前年比約3.8倍の7億4,100万ドルと最大で、メキシコは同3.1%減の4億7,300万ドル、バミューダ諸島が34.6%減の4億1,100万ドルと続く。

主な案件を見ると、製造業のセメントス・アルゴスが

ホンジュラスやプエルトリコに工場を設立したほか、アパレルメーカーのアルトゥーロ・カジェがグアテマラへの進出、スーパーテックスはニカラグアに繊維工場の設立、グループ・ファミリアはドミニカ共和国の日用品雑貨大手のコンチネンタル・ビジネスを買収するなど中米カリブ地域への投資が目立った。

## ■対日輸出では鉱物性燃料が好調

国家統計庁 (DANE) の通関統計によると、2017年の対日輸出は前年比30.3%増の5億5,700万ドル、対日輸入は同10.4%増の12億3,100万ドル、貿易収支は6億7,400万ドルの赤字となり、赤字幅はほぼ前年並みだった。日本は国別の貿易相手国で見ると、輸出は13位で構成比は1.5%、輸入は6位で同2.7%を占める。

対日輸出を主要品目別に見ると、石炭が前年比約5.7倍の1億4,800万ドルと最も伸び率が大きかった。次いで、原油が約5.6倍の1,600万ドル、殺虫剤・除草剤が34.8%増の1,600万ドル、銅のくずが32.8%増の4,400万ドルと拡大した。構成比の45.3%を占めるコーヒーは3.8%増の2億5,200万ドル、10.1%を占める花卉は14.7%増の5,600万ドルと順調に推移している。

他方、対日輸入を品目別に見ると、工業製品が大半を占め、構成比の高い順に自動車製品、部品が前年比19.0%増の4億2,900万ドル、原子炉、ボイラ、機械および部品が同4.0%増の2億6,100万ドル、鋳鉄、鉄鋼が同19.6%増の2億3,100万ドルと上位3品目で全体の74.9%を占める。

2017年の日本からの直接投資額は前年比約3.4倍の6,300万ドルと大幅に伸びた。主な案件としては、7月にいすゞ自動車が商用車向けの中古エンジンの再生会社を設立したことが挙げられる。同社トラックは国内で5割を超えるシェアを持つ。また、11月にアシックスは国内販売強化を目的とした現地法人を設立した。さらに12月には日本農薬が約600億円とみられる農薬需要のさらなる市場拡大に期待しAdnicol社の発行済み株式を100%取得することを決定した。

2017年12月21日には、日本とコロンビアとの間の租税条約が実質合意に至った。

表7 コロンビアの主な対内直接投資案件（2017年）

（単位：ドル）

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
通信	ミリコム・インターナショナル・セルラー	ルクセンブルク	1月17日	1億	同社が所有する電気通信会社TigoOneはサービスの容量と適用範囲を改善するために1億米ドルを投資。このため、ネットワーク管理に特化した多国籍企業ファウエイと戦略的提携を締結。
小売	ヘネス・アンド・マウリッツ（H&M）	スウェーデン	2月9日	n.a.	同社はボゴタ市内および郊外のショッピングモール内に4店舗を設立。今後、バランキージャ、カリ、メデジン、ブカラムンガに店舗展開を検討する。
エネルギー	ヴァロレム	フランス	2月28日	3億	風力エネルギーパークの製造を行っている同社は、再生可能エネルギー分野でコロンビアに今後5年間に約3億米ドルの投資する予定。
ITサービス	カピファイ	スペイン	5月22日	1億	インターネット経由で配車サービスを提供する同社は、今後5年間で1億ドルを投資し、企業の配車サービスを提供する。
ITサービス	オダータ	ブラジル	7月4日	1億	ボゴタ郊外の複合施設にデータセンターの建設を開始。
通信	アメリカ・モバイル	メキシコ	7月10日	1億5,000万	同社が所有する電気通信会社Claroは、ボゴタ市内にプラザ・クラロを設立、事務所および商業施設の複合施設となる。
小売	ジェロニモ・マーティンズ	ポルトガル	7月17日	1億4,800万	ジェロニモ・マーティンズグループの子会社でスーパーマーケットを展開するアラは、国内店舗拡大のためボゴタの2店舗、シバキラの4店舗、ビジャ・デ・レイバの1店舗を買収。
ホテル	シティ・エクスプレス	メキシコ	8月18日	1億2,000万	メキシコのホテルチェーンのシティエクスプレスは、ボゴタに2つ、メデジンに1つのホテルを開設。
金融	ゴールドマンサックス	米国	8月29日	1億3,500万	港湾および物流サービスを提供するコンパス社の50%の株式を保有するアルゴスグループの株式を1億3,500万ドルで取得。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表8 コロンビアの主な対外直接投資案件（2017年）

（単位：ドル）

業種	企業名	投資国・地域	時期	投資額	概要
製造業	セメントス・アルゴス	ホンジュラス	1月30日	2,400万	ホンジュラスのサンロレンソに工場を新設した。直接、間接合わせて100名以上の雇用創出。
製造業	セメントス・アルゴス	プエルトリコ	2月9日	800万	同社の子会社ウェトバン・オーバーシーズ社が、クリンカー、セメント製造会社エスロック・サン・ファン社の全株式を800万ドルで取得。
製造業	アルトゥーロ・カジェ	グアテマラ	3月31日	300万	アパレルメーカー、アルトゥーロ・カジェはイノベーション、デザイン、品質の良さを強みにグアテマラのファッション業界参入を図る。
製造業	スーパルテックス	ニカラグア	4月4日	1,000万	ニカラグアに繊維工場を設立。年間1,000万着の生産予定。同社の全生産の15%増を目指す。
製造業	グルーポ・ファミリア	ドミニカ共和国	12月22日	1,650万	2018年中にドミニカ共和国の日用品雑貨大手のコンチネンタル・ビジネスを1,650万ドルで買収することを発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表9 コロンビアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：1,000ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2016年	2017年				2016年	2017年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
伝統産品	327,103	446,289	80.1	36.4	自動車製品、部品	360,699	429,214	34.9	19.0
コーヒー	242,980	252,248	45.3	3.8	原子炉、ボイラー、機械および部品	250,975	260,921	21.2	4.0
石炭	25,793	147,791	26.5	473.0	鋳鉄、鉄鋼	193,295	231,220	18.8	19.6
原油	2,894	16,099	2.9	456.2	ゴムおよび同製品	84,352	97,269	7.9	15.3
フェロニッケル	55,436	30,151	5.4	△45.6	光学機器および映像記録機器	52,987	57,563	4.7	8.6
非伝統産品	100,528	111,070	19.9	10.5	録音・録画機器	40,736	52,395	4.3	28.6
花卉	48,952	56,141	10.1	14.7	鋳鉄製品、鉄鋼製品	10,591	13,950	1.2	5.1
コーヒー調製品	15,049	17,151	3.1	14.0	医薬品	14,355	13,655	1.1	31.7
殺虫剤・除草剤	12,224	16,479	3.0	34.8	化学品	17,170	13,007	1.1	△24.2
エメラルド	5,084	4,629	0.8	△9.0	プラスチックおよび同製品	12,029	11,940	1.0	△0.7
銅のくず	3,337	4,432	0.8	32.8	合計（その他含む）	1,115,630	1,231,264	100.0	10.4
バナナ	1,739	1,651	0.3	△5.1					
合計（その他含む）	427,631	557,359	100.0	30.3					

〔出所〕国家統計庁（DANE）、国税庁（DIAN）